科目ナンバリング	U-LAS05 20058 SJ39						
授業科目名<英訳>	地理学基礎ゼミナールIII（地理情報） Introduction Seminar on Geography III (Geographic Information)			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　久木元　美琴		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業では、地図や地理情報についての様々な種類、使用、社会での受容や影響を学ぶとともに、地図や地理情報に関する入門的な手法を演習する。これを通じて、地理学の研究遂行に必要な地図・地理情報に関する知識や地図作成の基礎的スキルを習得することを目標とする。

[到達目標]

地理学的研究における地図・地理情報の視点や研究動向を理解する。
地図や地理情報を用いた地理学的分析手法の基礎を習得する。

[授業計画と内容]

受講生の人数や進度に応じて、回数や順番を変更する場合がある。
学習・作成した地図を携えたショートフィールドワークを行う（土日、大学周辺～京都市内、後期の間に1～2回）。

第1回　ガイダンス：地図と地理情報
第2～8回　様々な地図の利用
近代以降の地図、社会や学問における地図、手描き地図・メンタルマップ、生活活動の時空間描画（時間地理学）、クリティカルGISといったテーマについて、文献の輪読や作成演習をもとに学ぶ。

第7～14回　地理情報システム
WebGIS、GISの基本操作、地理空間情報の取得、統計地図の作成と注意点、アドレスマッチング、ジオリファレンス、フィールドワークによるデータ取得と表現といったテーマについて実習し、 受講生による発表とディスカッションを行う。
第15回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点100%（実習への参加と課題提出40%、プレゼンテーション40%、グループワークまたはディスカッションへの参加状況20%）

[教科書]

若林芳樹 『地図の進化論』（創元社,2018）
実習についてはプリントを配布する。

地理学基礎ゼミナールIII（地理情報）(2)へ続く↓↓↓

地理学基礎ゼミナールIII（地理情報）(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前学修：輪読回には、課題文献を読んで内容や論点、疑問点を整理しておく。実習回では、事前に配布した資料を読んでおく。準備課題がある場合にはそれを作成する。
事後学修：輪読回では授業内容を振り返って論点や疑問点に関する関連情報を調べる。実習回では、配布資料をもとに復習し課題（小レポート等）を提出する。

[その他（オフィスアワー等）]

実習指導および質疑応答に適切に対応するため、上限を15名とする。とくに履修を希望する学生には事前課題による「教員推薦」を行う予定。
この授業のなかでは、無料のGISソフトを用いたパソコンでの実習を行う（Windows環境を想定）。

実習・演習形式のため、毎回の課題作成と提出が必要になる。

生成AIの使用制限: 課題や評価に関わる成果物のいかなる部分も、生成AIによって生成、作成、製作してはなりません。提出が求められるすべての課題は学生自身が作成したものでなければならず、生成 AI を使用して評価に使用される課題や成果物を作成することは厳格に禁止されています。ただし、自らの学習を補助するために、概念の探究を行うこと、説明を受けること、内容を翻訳すること、については、生成AIを使用することができます。使用する場合には、「京都大学の教育・学修におけるAIの利用について」のガイドラインを遵守し、誤情報やバイアス等のリスクが含まれることを念頭におき、根拠資料・一次情報の確認をすること。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部